

日本分析化学会

# 化学分析技能研究懇談会

Discussion Group of Knowledge and Skills of  
Chemical Analysis

ニュースレター Vol.1 (創刊号)

## まず創刊しました

創刊号です。まずは定期発行を目指しますが、何分初めてなので体裁など変更する可能性があります。記事内容も随時更新します。ご希望・ご要望は遠慮なくご連絡ください。ホームページのサイトもこれから更新していきます。

## 連絡先(U&U)

(委員長)

上本 道久 Uemoto Michihisa

明星大学 教授

理工学部総合理工学科

化学・生命科学コース

tel/fax 042(591)7333

michihisa.uemoto@meisei-u.ac.jp

(会計担当)

上原 伸夫 Uehara Nobuo

宇都宮大学 教授

大学院機能創成科学研究科

工農総合科学専攻

tel/fax 028(689)6166

ueharan@cc.utsunomiya-u.ac.jp

## 入会には

委員長の上本または会計担当の上原までご連絡ください。書類をお送りします。すぐ入会出来ます。



## 委員長より

正しい定量分析値に基づいた社会活動は国家の礎ですが、そのための基礎は湿式化学分析であり、機器分析の前処理としても適切な試料の溶解・分解操作による溶液化は不可欠です。しかしそれらの技術情報はどこから入手出来るでしょうか。主要成分（マトリックス）と分析種の多彩な組み合わせからなる試料を前に、如何に前処理を選択するか、機器の操作条件はどうやって最適化するか、データの整理は合理的か、など多くを知ることが必要ですが、論文や書籍も漸減傾向で、技術伝承の困難さからノウハウを聞ける機会も少なくなりました。

本研究懇談会は、レアメタル研究懇談会のリニューアルとして、2022年に発足しました。分析化学の技能に関する情報を提供して議論することを目指しています。

新規会員を募っています。ぜひご一緒いたしましょう！

上本 道久



## 次号以降の原稿を募集します

- 分析現場・研究室の紹介
- 分析技術者・研究者の紹介
- 試料のトピックス
- 分析技術のトピックス
- 化学分析Q&A (Qだけ、Aだけでも歓迎)
- 懇談会活動の提案
- 紹介記事、資料、書籍など
- その他



## 会計担当より

鉄鋼中に含まれる微量元素を湿式分析していた関係で、化学分析の技能継承に関わるようになりました。また、縁があつて本研究懇談会の会計を担当させて頂く事になりました。

さて、滴定法に代表される容量分析法や重量分析法は、絶対分析法として標準物質の値付けには不可欠な方法です。これらの分析方法はいくつかの化学反応の精緻な組み合わせによって成り立っています。

一見シンプルな化学反応でも影響する因子は様々であり、実際の分析ではそれらが複雑に絡み合つて影響していることがままあります。実際のところ、いわゆる熟練の技能というもので分析操作における様々な状況に対処していることが多いようです。

では、化学分析における技能とはどのようなものなのか、それをどのように継承していけばよいのか。それについて、一般解があるのか、条件を限定した特殊解を集積すべきなのか。本研究懇談会がこのようなことを議論する場となればよいと思っています。

上原 伸夫

## 新刊紹介



## 分析化学の基本操作

～器具選び・試料処理・データ整理～

丸善出版 2024年9月刊行 3,200円+税 ISBN 978-4-621-30998-8

近年、大学ではオーソドックスな分析化学教室が減少し、研究所では計測領域は本流ではないと過小評価され、企業では品質管理部という副次的な認識が主流となり、「試料中の元素や物質を正しくはかる」という分析化学の基礎および技術力の低下が懸念される。

本書は、化学分析の基本的な流れである、「どの器具を適切に使用して」「どのような操作を行って」「測定の後にどのようにデータを整理するのか(不確かさ解析)」について解説する。特に、器具や手技・操作の特徴をリアルなイラストで表現することで視覚的にも理解しやすく、学生にも新人研究者や実務者にも役立つガイドブックを目指した。

僭越ながらご批評いただければ幸いです(by 上本)